

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして

日造協ニュース

2014.10月号
通巻 第487号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

- 2面 【特集】日造協・技術委員会の取り組みについて
3面 【学会の目・眼・芽】 業界の共通インフラとしての造園 CPD 制度
(公社)日本造園学会幹事・東京農業大学地域環境科学部
造園科学科・生物環境調節室兼務 助教 浅井俊光
AIPH 総会 中国・青島で開催
4面 【ふるさと自慢】岡山県 小林和義 (株武田園)
もんげー岡山 四季の表情はでーれーエエし、ぼけーこと感動するじゃろナ
【緑滴】家庭に緑の癒し 山口 智世 (株ランドスケープ別大)

日造協会員の方々への「日造協ニュース」は偶数月がPDF版の配信で、印刷物の発送は行っていません。会員の方々へのメールニュースへの添付、日造協ホームページに掲載をしていますので、ご活用ください。

都市緑化キャンペーン開催



太田昭宏国土交通大臣（中央）、伊藤英昌会長（左端）等、5名の方々が花鉢配布前に紹介された

「都市緑化キャンペーン2014」が10月10日、東京都千代田区の有楽町駅前広場で行われた。キャンペーンは、身近な場所に緑があることの大切さや、その緑を守り、育てる取組みへの市民の参加・協力得ることを目的として、毎年、10月の都市緑化月間中に、国土交通省、全国知事会等の後援、都市緑化推進運動協力会の主催で実施している。

オープニングセレモニーでは、来年9月12日から11月8日まで、愛知県長久手市の愛・地球博記念公園を中心に行われる第32回全国都市緑化あいちフェアの紹介が、マスコットキャラク

ター・モリゾー、キッコロとともに行われ、その後、太田昭宏国土交通大臣をはじめ、伊藤英昌都市緑化推進運動協力会会長、小西千尋第25代日本さくらの女王、谷美智子さくらプリンセス（2014～2015）、市（いち）第32回全国都市緑化あいちフェアPR隊：あいち戦国姫隊の方々が1,000鉢の花鉢の配布や募金活動などを行った。

都市緑化月間中は、全国各地で緑に関するさまざまな行事を開催。10月29日には、東京都港区虎ノ門のニッショーホールで「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会も行われる。

優秀施工者国土交通大臣顕彰 日造協から建設マスターに7氏が受賞



平成26年度優秀施工者国土交通大臣顕彰受賞者と林副会長で記念撮影

平成26年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典が10月10日、東京都港区のメルパルクホールで行われた。

日造協からは、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）に、高島宏光氏（54）(株)高島泉樹園（宮城県仙台市若林区）、武田定修氏（53）(株)出羽園（山形県山形市）、田中優次氏（42）(株)田中造園（埼玉県所沢市）、佐藤桂一氏（45）グリーン産業(株)（新潟県新潟市北区）、松永正幸氏（42）(株)富士グリーンテック（山梨県西八代郡市川三郷町）、金城康弘氏（43）関西植木(株)（大阪府大阪

市都島区）、松本幸生氏（59）九州グラウンド(株)（福岡県福岡市東区）の7氏が受賞した。

式典では、大塚高司国土交通大臣政務官、藤澤好一優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員長あいさつの後、優秀施工者国土交通大臣顕彰授与が行われたほか、受賞者のお子さん等からの作文「ぼく・わたしから見たお父さん・お母さんの仕事」や、建設産業人材確保・育成推進協議会に寄せられた「私たちの主張」「高校生の作文コンクール」の作文紹介が行われ、講評の後、閉会となった。

樹林

日造協理事・副会長、西武造園(株)取締役社長
林 輝幸



「造園」という職業・職種

アベノミクスの成長戦略で「女性の活躍推進」を柱の一つに掲げている。建設業においても国土交通大臣が建設業の担い手確保にむけては女性の活躍が重要で、女性の感性や生活者目線が活きる現場として「造園」を提唱した。

日造協の平成26年度の委員会活動の一つに、特別部会による「女性の就業環境改善策等」を調査・検討し、これを踏まえて「担い手確保・育成行動計画」の立案を掲げている。

人口減少や高齢化等の社会情勢の中、「若年入職者の促進・若手経営者、技術者、技能者の育成」等の造園産業界の担い手確保が深刻な課題であることから、ここでは敢えて「女性」を意識しないで「若年者の入職」について考えてみたい。

一義的には、造園が如何に「魅力ある産業」であるかの宣伝・広告と考えるが、人が入職する時の判断基準や価値判断として「産業界に入る」より「仕事（職業・職種）に就く」と云う概念が優先すると思われる。そこでいつも行き着く疑問が「職業」としての周知度である。

総務省による「日本標準産業分類」で「造園」を確認していくと、大分類(D)建設業⇒中分類(06)総合工事業⇒小分類(062)土木工事業の中で(0622)「造園工事業」に辿り着く。同じく「日本標準職業分類」では、大分類(G)農林漁業作業⇒中分類(46)農業作業⇒小分類(463)「植木職、造園師」である。

因みに、大分類(B)の専門的・技

術的職業従事者となるが中分類(09)で建築・土木・測量技術者となり、小分類の(092)土木技術者で終了している。

更に、大分類項目は(A)管理的職業従事者から(L)分類不能な職業までの12項目があり、7項目は「〇〇従事者」表記であるが4項目は「〇〇作業員」表記となり、「植木職、造園師」は「作業員」表記の分類である。他の「作業員」表記の分類は、(H)生産工程作業員、(J)建設・採掘作業員そして、(K)労務作業員となっている。

国として基本的仕組みに関わる諸制度や、経済・社会活動を支える基本的システムを所管して行政機能を担うのが「総務省」。分類の目的を「統計を職業別に表示するために、仕事の類似性で区分し、体系的な分類で、統計の統一性及び総合性を確保し、利用の向上を図ることを目的とする」とあるが、総務省が産業として「造園工事＝建設業」を認知していないが「職業」としての分類に整合性が全く無い公示表では、利用の向上は図れない。ましてや、この公示分類表を目にした時に幅広い就職活動者達は、「造園」って安心して入職して良い職業なのか疑問符が付くのではと不安を抱く。

統計上の分類とはいえ、「総務省」の公示表である以上この職業分類の是正を早急に求めたい。若年者の造園業界への入職を促し、担い手を育成して造園の職域を確保し続けなければ官も民も無いのである。この課題解決に向けて、官・産・学が一体となって取り組まなければと感じている。

造園技術による雨水流出抑制の提言～ポートランド市に学ぶ～

〈参加募集中〉研修会と東京周辺の最新事例視察 11月13日(水)、14日(木)に開催

- 集中豪雨による被害低減など、雨を浸透、蒸散、浄化し、河川、海への負担を軽減する取り組みが注目されています。
- このため、日造協では、LID（低影響開発）や雨水の流出抑制を活用した緑のまちづくり、“Green Street Project”を推進する、ポートランド市から講師をお招きし、植栽基盤整備や植物の機能活用など、数多くの実験データに基づく植栽や管理手法などのご講演いただき、意見交換により、日本の気候風土に適合した新たな造園技術としての展開について考えます。この機会にぜひご参加ください。
- 〈研修会〉造園技術による雨水流出抑制の提言～ポートランド市に学ぶ～
- 講演1：都市の雨水流出抑制と植栽技術
Ms.Dawn Uchiyama
ポートランド市環境サービス局
環境プログラムシニアマネージャー
- 講演2：LIDのグリーンインフラ12の事例研究から
小出兼久（ランドスケープアーキテクトASLA
JXDA日本ゼリスケープデザイン研究協会）

事例紹介：雨水浸透基盤材の開発
木田幸男（日本緑化工学会）
LIDのグリーンインフラ12の事例研究から
意見交換：会場の皆さんと意見交換
懇親会：17:10～ 会費制 5,000円
②日時：11月14日(金) 10:00-16:00
集合：JR中央線 豊田駅
内容：イオンモール多摩平の森ほか、東京周辺の最新事例視察
※造園CPD：13日3.0、14日5.0単位
※申込みはメールまたはFAXで、
event@jalc.or.jp FAX:03-5684-0012

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！



特集 日造協・技術委員会の取り組みについて

技術委員会

委員長 卯之原 昇



今年度の、技術委員会は6部会で活動を行います。

各部会の主な活動については、以下のとおりです。

●企画部会では、委員会全体の対応事項の検討、●技術・技能部会は、植栽技術の「配植ハンドブック」の作成、造園工事に関わる工事仕様

書等の改善等、●技術情報・研修部会は、造園技術フォーラムの開催と情報の共有化と研修会の企画立案等、●技能五輪部会は、全国技能五輪大会への運営参加、若年者の育成等、●安全部会は、「造園安全管理の手引き」の見直し作成、安全作業工法の検討・啓蒙活動、安全アンケートの実施等、●調査・開発部会は、公園樹木剪定ハンドブックの作成、チップ及び堆肥の品質基準の検討等を行います。

他にも、街路樹剪定士、植栽基盤診断士の講師の育成、各資格研修会への技術協力、造園デザインコンクール等への協

力等、全国各地の技術委員皆様と一緒に活動して行きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

技術委員会委員			
区分	氏名	会社名	支部
委員長	卯之原 昇	(株)昭和造園	東京
副委員長	松本 透	(株)富士植木	東京
〃	伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス	東京
〃	鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園	東京
〃	中村 秀樹	内山緑地建設(株)	東京
〃	石出慎一郎	東洋緑化(株)	宮城
〃	永島 昌和	(有)桂植木	沖縄
理事	北 総一郎	北造園(株)	石川
委員	熊谷 雅人	雪印種苗 (株)	北海道
〃	渡邊 進	(株)八廣園	埼玉

区分	氏名	会社名	支部
委員	伊藤 志朗	(株)飛鳥ガーデン	富山
〃	水谷 春海	(株)水谷造園	三重
〃	佐野 晋一	(株)植藤造園	京都
〃	坂本 竜二	廣島緑地建設(株)	広島
〃	菅 基裕	(株)ひらい緑地	愛媛
〃	古賀 正	古賀緑地建設(株)	福岡
技術顧問	立山富士彦	立山造園事務所	千葉

技術企画部会			
区分	氏名	会社名	支部
部会長	卯之原 昇	(株)昭和造園	東京
部会委員	松本 透	(株)富士植木	東京
〃	伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス	東京
〃	鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園	東京
〃	中村 秀樹	内山緑地建設(株)	東京

技術・技能部会

部会長 松本 透



技術・技能部会の主な活動は造園本来の技術及び技能の継承、発注者が編集する工事共通仕様書改定案の検討、資格制度委員会へ

の協力などが挙げられますが、今年度は新たに「緑地育成工事」の仕様書及び歩掛の検討が加わることになります。

技術及び技能の継承につきましては、日本造園学会との包括的な連携のもとに造園技術の確立と向上を目指して「(仮称) 造園施工示方書〜グリーンインフラの構築にむけた造園施工からのアプローチ」の出版企画に参画し、現在検討を進めています。また今年度中には昨年度か

ら始めている「配植技法ハンドブック」の取まとめ、形にする予定であります。

時代の要求で造園工事に新たに加わる予定の「緑地育成工事」の仕様書及び歩掛の検討については資格制度委員会とも連携し、土木、建築とは違う造園技術者の新たなステージとなり、且つ技術を活かせるものにしたいと考えております。

土木・建築とは違う造園でしかできないものは何なのかを考え、それに必要な

技術・技能部会			
区分	氏名	会社名	支部
部会長	松本 透	(株)富士植木	東京
部会委員	立山富士彦	立山造園事務所	千葉
〃	渡邊 進	(株)八廣園	埼玉
〃	吉村 知泰	(株)吉村造園	東京
〃	佐藤 英介	(株)石勝エクステリア	東京

技術・技能を持った人を育てることはもとより、その技術が誇りを持って活かせる仕組み作りも当部会の重要な役割と考えております。

技術情報・研修部会

部会長 伊藤 幸男



技術情報・研修部会の活動で、会員の皆様との接点の最大のもの、「造園技術フォーラム」です。2014 年は、第 8 回のフォーラムを4月に浜松市で開催しました。このイベントは、協会会員各社の皆様がそれぞれに素晴らしい技術を持ち、また地域

活動を行っていながら、なかなかそれが業界全体の動きや会員各社の技術を担う方々に普及できていないことと、他業界との差別化につながる情報として共有できていないことから「造園技術情報共有発表会」として始まったものです。もちろん個々の企業の競争力として技術の差別化は必要ですが、そのすばらしい技術情報を造園業界全体として少しでも多くの会員会社が共有化して、造園技術の必要性を世の中にアピールし、その特異的な業としてのマーケットそのものを広げていくための活動として開催しているも

のです。

このイベントを開催することによって、多くの優れた技術や活動が紹介されるばかりでなく、発表者のプレゼンテーションの工夫も進化し、より聴き手に理解しやすいようになるなど、副次的な効果も出てきました。会員各社の皆様には、是非積極的に技術ノウハウを発表していただくとともに、このイベントに多くの社員を参加させていただき、業界全体の発展と各企業の発展双方に役立たせていただきたいと思います。

今後造園技術フォーラムは、毎年、

技術情報・研修部会			
区分	氏名	会社名	支部
部会長	伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス	東京
部会委員	大場 淳一	(株)大場造園	東京
〃	坂元 博明	(株)柳島寿々喜園	東京
〃	中村 良孝	(株)飛鳥	東京
〃	中嶋 和敏	(株)中嶋造園土木	愛知

都市緑化フェア開催中に開催地の支部が主体となって、企画開催されていきます。来年 2015 年は、秋に愛知県で開催する予定です。みなさまのお越しをお待ちしております。

技能五輪部会

部会長 卯之原 昇

技能五輪部会は、全国技能五輪大会への運営参加、若年者の育成等を担って居ます。

平成 26 年度の第 52 回技能五輪全国

大会は、愛知県豊橋市総合体育館隣接地にて 11 月 29 日、30 日に開催されます。

本大会は、2015 年 8 月にブラジル・サンパウロにて開催される第 43 回技能五輪国際大会の選手選考もかねており、「造園」職種競技については、現在 25 組 50 名の選手が参加を予定しています。

実施に当たっては、(一社)日本造園組合連合会と連携し、当協会も、運営委員、競技委員とし参画するとともに、開催地となる愛知県の日造協会員企業の協力を得て、間近に迫った大会に向けての体制を整えております。

ぜひ、会場で真摯に競技に取り組む選

技能五輪部会			
区分	氏名	会社名	支部
部会長	卯之原 昇	(株)昭和造園	東京
部会委員	松田 武彦	松田造園技術事務所	神奈川
〃	松本 透	(株)富士植木	東京
〃	榊原 亘	(株)豊橋園芸ガーデン	愛知
〃	八木澤隆	(有)信州緑地	長野

手の姿を応援しにいらしてください。

安全部会

部会長 鈴木 義人



安全部会は、会員の皆様からの安全に関するアンケートをもとに、最近の事故発生状況の情報収集を行い、造園作業の特性に適した安全対

策の検討、その成果を「造園安全衛生管理の手引き」、「安全作業のしおり」などにとりまとめ、会員企業の皆様などに現場で広く活用して頂けるよう公開しております。

まもなく発行予定の「安全衛生管理の手引き (第 5 版)」では、労働災害防止計画や労働安全衛生法の全体像をわかりやすく解説し、事業場の安全管理体制と現場の安全衛生管理体制を関連付けて記

載するなど内容を大幅に修正しました。また、ロープワークによる剪定作業の紹介や作業後の清掃工場内での事故例なども記載し事故防止に役立てて頂けるようにしました。

このように事故は施工中だけでなく、施工後や片づけ作業中でも起こるもので、事故を起こすと本人はもとより、その家族や同僚そして会社にまでダメージが及びます。安全部会では悲惨な事故が

安全部会			
区分	氏名	会社名	支部
部会長	鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園	東京
部会委員	内田 卓弘	(株)内田造園	神奈川
〃	生方 幸寿	東急グリーンシステム(株)	東京
〃	高田 和己	東武緑地(株)	東京
〃	山口 雄資	群馬庚申園(株)	群馬

起きないように、これからも高所作業での安全機材の開発や技術の先進的な事例を収集するとともに造園作業用の製品、工法の普及啓発を行っていきます。

調査・開発部会

部会長 中村 秀樹



調査・開発部会では、「(仮称) 公園・緑地樹木剪定ハンドブック」と「(仮称) みどりの発生材リサイクルガイドライン」の取りまと

めを行なっております。

街路樹剪定士は 1 万人を超え活躍しておりますが、発注機関からは街路樹から公園・緑地など、更に活動領域を広げた剪定士資格が望まれております。公園・緑地の樹木は統一美を追求する街路樹とは異なり、植栽の目的や機能は千差万別であることから、それぞれの場にふさわしい剪定、あるいは育成管理が求められます。そこで、解説書となる「(仮称)

公園・緑地樹木剪定ハンドブック」を取り纏め、現在、最終原稿の校正を行なっている最中です。編集終了後は、研修会用パワーポイント作成等、「(仮称) 公園・緑地樹木剪定士」の資格認定制度の創設を見据え、引き続き取り組んで参ります。

「(仮称) みどりの発生材リサイクルガイドライン」は、2004 年に発行された「チップおよび堆肥化のガイドライン」のリニューアル編集として取り纏めてお

調査・開発部会			
区分	氏名	会社名	支部
部会長	中村 秀樹	内山緑地建設(株)	東京
部会委員	立山 富士彦	立山造園事務所	千葉
〃	内田 卓弘	(株)内田造園	神奈川
〃	石井 匡志	アゴラ造園(株)	東京

り、年度内には発行の予定です。内容の改編にとどまらず、リサイクル堆肥としての基準を明確にすることで、日造協としてリサイクル製品の認定（プロセス認定）を目指し、取り組んでおります。

AIPH 総会 中国・青島で開催

AIPH(The International Association of Horticultural Producers:国際園芸家協会)の第66回総会が、中国の青島で開催された。

総会では、会員総会、理事会、①科学・教育、②品種登録、③マーケティング・博覧会、④経済・統計、⑤環境・植物防疫 ⑥グリーンシティの6委員会とGOTY(Grower of the year:年間優秀生産者表彰)の審査会が同時に行われ、日本からは、和田新也副会長、當内匡、山田拓広国際委員と野村徹郎技術・調査部長が参加した。

和田福会長が委員長をつとめるマーケティング・博覧会委員会では、園芸博覧会の開催承認と新たな規則、博覧会開催の効果などが審議された。



園芸博覧会会場



AIPH 第66回総会 会長挨拶

AIPH 総会参加報告

国際委員会委員 山田拓広

国際委員会に思いがけずお声かけいただき、「国際園芸家協会の総会が今年は青島で開催されるので、参加の返事は"YES"か"はい"でよろしく！」と半ば強制的に参加申込み。わけのわからないうちに青島で会議の席に居ることになりました。

会議は総会及び各専門委員会の報告などの決まったスケジュールだけではなく、それ以外にも準備の会議が早朝から深夜まで、朝は7時前から、夜は夕食後21時から開催されていることに驚きました。緑化園芸業界の将来について、普段は会うことが難しい各国代表が顔を合わせ、慎重かつ真剣な議論が展開されている様子が伺えました。和田委員長、野村部長には非常に厳しいスケジュールをこなされていることに敬意を表します。

各専門委員会では、都市緑化、環境、植物、販売促進についての提言など、非常に活発な意見交換が展開されました。AIPHが世界各国での緑化

推進に大きく貢献していることが理解できたとともに、地球環境問題が取り沙汰される中で、今後AIPHの果たす役割はとても重要なものであると感じました。

最終日は半日でしたが、青島の園芸博覧会を視察することができました。園芸博覧会では初めて移動手段としてロープウェイを設置するなど、広大な敷地に本当に多くの庭園展示が行われ、特に、中国側の庭園にはかなり力が入っていました。地方毎に出展された庭園展示は各々の特色が強調され、興味深いものでした。

今回は本当に貴重な経験をさせていただきました。また機会があれば協会のより多くの皆様とともに国際事業に参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。



當内さん、山田さん 会議に参加

AIPH in 青島に参加して

国際委員会委員 當内 匡

海外の大学卒業経験から国際委員会に選任いただき、今回初めてAIPHの総会や委員会、花博視察などの行事に参加させて頂きました。

開会式前日に現地入りし、次の日の朝から立派な開会式、その後1日半にわたって各種委員会に参加しました。AIPHは花博だけを取り扱っていると思っていましたが、緑のまちづくりや種苗の知的財産権保護、地域種保全等の幅広い委員会活動もされていることを初めて知りました。各種委員会では議事録確認、活動報告、各国の状況報告、規約変更など慎重に審議が行われます。非常に有効性を感じたのは、各国の新たな取り組みの情報が交換されるということです。それらをうまく日本でも取り入れていけば、業界をより発展させることもできるのではないだろうかという可能性を感じました。

また驚嘆したことは、AIPHの副会長、そして花博を取り扱う委員会の委員長という大役を和田副会長が長年果たされてきたことです。軽快なジョークで場を和ませながら会議を進行され、各国メンバーから厚い信頼を寄せられている姿を見せて頂き、本当に敬服致しました。

3日目は花博の視察でした。花博開催を利用して広大な規模でのまちづくりを国家的に押し進めている中国にすごさと怖さを感じました。そして中国の樹木移植や剪定の技術が高くなっている事が印

象的でした。木材供給が整っていないためか支柱は中途半端なものとなっており、10m以上の高木が日本のように鉢を巻いて掘りとられ、うまく枝抜き剪定をして植えられていました。

最後になりますが、和田委員長のその足下にも及びませんが、英語力を磨いて、お役に立てるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



和田副会長の長年の功績をたたえ
AIPH会長からゴールドメダルを授与

学会の目・眼・芽 第61回

業界の共通インフラとしての造園CPD制度

(公社)日本造園学会幹事・東京農業大学地域環境科学部
造園科学科・生物環境調節室兼務 助教 浅井 俊光

私は2009年から造園CPD推進委員会、造園CPD認定委員会にてプログラム認定に関わる業務を務めて参りましたが、当初は右も左も分かりませんでした。最初は先輩幹事や委員会の諸先生方に叱咤激励を賜りながら、年間500件近いプログラムの認定・登録作業を何とか切り盛りすることができました。また、新たに2013年から造園CPD推進委員会総括幹事、造園CPD推進協議会幹事という大役を仰せつかり、より企画・運営的な立場としての業務と責任が求められる立場となりました。

現在、造園CPD制度は大きな転換期を迎えております。その中で、喫緊の課題とも言えるのが、今回タイトルにもさせて頂いた「業界の共通インフラとしての造園CPD制度」であり、その機能が十分に発揮されているか？ということであるかと思われます。造園CPD制度を積極的に活用され、熱心に社員・職員教育をされている企業・団体は数多ございますが、その一方で、造園CPD制度への理解度や期待度については、企業、団体、都道府県の様々なレベルにおいて、極端な温度差があることは、業界周知の事実であるかと思ひます。

こうした原因については、「総合評価落札方式やプロポーザル方式にCPD単位を加算する自治体に属しているか否か」や単に私を含めた造園CPD関係

者の努力不足など、理由をあげれば枚挙に遑がございません。しかし、ここで造園CPD制度の出発点である「継続教育の支援」という目的に立ち返り、客観的に見れば、これは「社員・職員教育を熱心に行う業界であるか？」という、社会からの厳しい問いかけでもあるということを我々、造園業界人は深く認識すべきではないでしょうか。

こうした現状を真摯に受け止め、造園CPD推進委員会では、「現状打破」と「地方浸透」の先駆けとして、2014年5月25日(日)(造園学会全国大会期間中)に「造園CPD勉強会「技術者審査との関係～地方から始まるスタンダード～」」を教育職能フォーラムとして開催させて頂きました。フォーラム後、直ちに九州地方でCPD関連の勉強会が開催されるなど、大きな反響も頂き、確かな手応えも感じました。その一方で、地方の情報格差や単位修得の難しさなどについて、貴重なご意見も数多く賜りました。まだまだ課題山積の造園CPD制度ですが、造園業界の中で名実ともに強力な「情報・知識・教育の共通インフラ」となれるよう、私も微力ながら全力を尽くしていく所存でございます。これからも造園CPD制度をドシドシ！活用して頂けますよう、どうぞよろしくお願い致します。

岡山県
もんげー岡山!!
四季の表情はでーれー
エエし、ぼっけーこと感動するじやろナ

岡山県のキャッチフレーズ『もんげー岡山!!』。それはすごいという意味の岡山弁。「でーれー、ぼっけー」と他にも同じ意味の言葉もありますが、人気アニメ「妖怪ウォッチ」のコマさんが「もんげー」を連呼して、子供たちに浸透し、いまや全国区になりました。

9月には来春公開の映画「でーれーガールズ」の全編岡山口ケもあり、今、ちょっとした岡山弁ブームなのです。

岡山県北には新見市に千屋（ちや）という地域があります。岡山では屈指の豪雪地帯であり、また和牛の里（千屋牛）としても知られますが、非常に高齢化の進んだ地方です。

この地域に親戚がおり毎年お米を作る手伝いに訪れますが、毎回農作業で身体は疲れても豊かな自然に心を癒されて帰っている気がします。

岡山県は温暖な山陽地方にあり、南を水産資源豊かな瀬戸内海に接し、年間を通じて晴天の日が多い事から晴れの国と呼ばれています。また、源流から河口まで、旭川をはじめとする比較的大きな河川も多いため水不足にもなりにくいという、とても住みやすい土地である事はわりと知られているかと思います。

しかしそれだけでなく真四角に近い形



春 4 月 醍醐桜 樹齢千年



春 4 月 後楽園 岡山城



秋 10 月 蒜山



秋 11 月 関谷学校カイノキ



夏 6 月 棚田百選美咲町大井和



夏 7 月 吉備路国分寺



夏 7 月 瀬戸内海



冬 新見千屋雪景色

状をした岡山県は、その東西南北の地域によってとても多様な気候・地理的条件を持つ表情豊かなところであるということのも特徴と言っていていいでしょう。

県都岡山には日本三名園岡山後楽園。備前焼で知られる焼き物の町備前を東に位置し、南には初の本四連絡橋である瀬戸大橋を構え、中国地方屈指の工業地帯をも抱える倉敷。西には広島県福山へと続く工業地帯でありながら天然記念物カブトガニの生きる海を擁した笠岡があります。



瀬戸大橋の町 下津井

それとうってかわって冒頭で触れた県北はいくつものスキー

場が置かれているほどの豪雪地帯であり、蒜山高原や湯原温泉など自然に親しむことのできる環境が広がっているのです。

県内だけでマリンスポーツから文化や歴史に触れ合い、自然の表情が豊かな岡山県。高原の避暑、春・秋の行楽や冬の

レジャーまで楽しめる、ひとつに絞らずそれら全部が岡山の魅力だと思います。なー そうじゃろ？ そうじゃがー。（そうでしょう？そうですね）

最後も岡山弁で締めました。

小林和義（株武田園）



家庭に緑の癒し

(株)ランドスケープ別大 山口智世



設計課に所属する私は、個人住宅の外構やガーデニングの設計をしています。

私の勤めている会社は、緑豊かな住宅地の中にある広い展示場が自慢です。朝は鳥のさえずりを聞きながらラジオ体操をし、仕事が始まります。ときどき仕事の合間に、展示場で木の実の収穫や、初めて見る虫との遭遇などを楽しんでいます。展示場の中にいて私が一番好きなのは、木洩れ日です。緑の癒しの力を感じます。

そういったお庭でのわくわくキラキラした気持ちや癒しを、たくさんの方に身近に感じて頂きたいと思い、一軒一軒のお宅のライフスタイルを考えながら、お庭の提案をさせて頂いています。

提案する際、私は手書きの図面で提案させて頂いています。パース図面を手書きで描くのは、手間が掛かりますが、職人の手仕事の暖かさや、植物の柔らかな雰囲気がお客様に伝わるように、図面を仕上げています。初めは本当に下手なパースを描いていたのですが、日々少しずつ伝わるパースが描けるように進歩していると信じて仕上げています。

お客様が手書きのパース図面をみて喜んでくださると、手描き冥利で、小さくガッツポーズ（心の中で）をしています。

最近一番うれしかったのは、展示場で遊んでいたお子様が「ママ、ウチもお庭つくろうよ」と言う言葉です。



木洩れ日 (展示場にて)

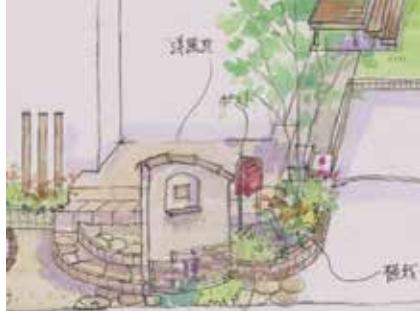


家庭での生活の一部を豊かにすることができる幸せ ツリバナの実と虫

な仕事をしているのだと感じました。

子供たちが楽しめるお庭も沢山、提案していきたいと思います。そのためにも設計者として発展途上な私ですので、たくさんものを見て吸収し、自分のものにしたい次第です。手始めに、季節も好くなってきましたので、どこか旅行に出かけたいと思います！

また将来は設計だけに留まらず、環境問題にも取り組んでいきたいです。そして子供たちに自然の大切さを教えていきたいと考えています。



事務局の動き

- 【9月】
- 1 月・全国労働衛生週間準備期間 ～ 9/30
 - 2 月・アクションプログラム推進等特別委員会
 - 3 月・公園緑地折下功労賞選考委員会
 - 4 月・国交省公園緑地・景観課との意見交換会・運営会議
 - 5 月・総務委員会（広報活動部会）
 - 9 月・技術委員会
 - 11 月・総務委員会
 - 15 月・A I P H 総会 ～ 9/22
 - 21 月・植栽基盤診断士認定試験（学科試験）
 - 24 月・造園・環境緑化産業振興会事務局会議・日本造園建設厚生年金基金代議員会
 - 26 月・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
 - 28 月・阪神造園建設業協同組合 50 周年記念式典
 - 29 月・登録造園基幹技能者講習試験委員会・テキスト編集部会
 - 30 月・資格制度委員会
- 【10月】
- 1 月・都市緑化月間 ～ 10/31
 - ・全国労働衛生週間 ～ 10/7
 - ・技術委員会（調査・開発部会）
 - 2 月・運営会議
 - ・植栽基盤診断士認定委員会
 - 3 月・造園施工管理技術検定委員会
 - 4 月・都市景観の日
 - 7 月・技術委員会（技能五輪部会）
 - ・造園・環境緑化産業振興会事務局会議
 - 8 月・総務委員会（広報活動部会）
 - 10 月・事業委員会（造園フェスティバル推進部会）
- ・都市緑化キャンペーン 2014
優秀施工者国土交通大臣顕彰式典
11 月・全国造園フェスティバル 2014（コア日） ～ 10/13
- 14 月・総務委員会（社会保険未加入対策部会）
 - 15 月・登録造園基幹技能者講習試験部会
 - 21 月・技術委員会（安全部会）
 - 23 月・茨城県支部標準見積書作成実務講習会
 - 24 月・岐阜県支部標準見積書作成実務講習会
 - 27 月・中国総支部、中国地方整備局建政部と意見交換会
 - ・中国総支部・支部交流会
 - 28 月・登録造園基幹技能者講習委員会
 - 29 月・「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会
 - 30 月・「地域リーダーズ」勉強会 ～ 10/31
- 委員会等の活動
- 総務委員会（広報活動部会）
日造協ニュース 9 ～ 11 月号の内容等について審議した。(9/5)
 - 総務委員会
今後の委員会運営や各部会の検討事項等、総支部の活動状況等について、説明や検討、報告した。(9/11)
 - 技術委員会
各部会の所掌事項と重要案件の確認、事業計画の検討を行った。(9/9)
 - 資格制度委員会
委員会の役割の確認、既存資格制度の諸課題と新資格制度の検討を行った。(9/30)

《ご案内》建設の現場で働く人のための退職金

建設業退職金共済制度（建退共制度）は法律に定められた国の退職金制度です。

簡単な手続きで加入でき、事業主が現場労働者に労働日数に応じ、掛金（事業主全額負担）の共済証紙（1日分310円）を貼り、労働者は、雇用される企業が変わっても建退共加入事業所であれば、継続して共済証紙を貼って貰うことができる建設業界全体の退職金制度。退職金は24月（21日：1月換算）以上の掛金納付で、建設業界で働くことをやめた際、建退共から直接労働者へ支払われます。

掛金は、損金・必要経費として、全額

非課税となり、新たに加入した労働者については、掛金の一部（初回交付手帳の50日分）が国から補助されます。

また、建退共制度の適正な履行で、経営事項審査の加点評価対象となり企業にとっても利点のある制度となっています。

退職金制度は、労働者に安心と希望を与え、事業主にとって優秀な人材の確保等、企業の価値を高めることに繋がり、事業主・労働者双方に有意義です。

問合せ先: (独) 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部 ☎ 03-6731-2866

編集後記 右も左も分からずに広報活動部会に入り、会議に再校を重ねて作り込まれるこの紙面の過程を目の当たりにしました。多くの方に読んで頂きたいと場所を変えて会議の延長、本郷探索。気が付けば月食見逃した…、残念

建退共に参加の事業主の皆様へ

建退共制度の利用に当たっては、下記の七点にご留意ください。

- ①共済証紙の購入は、元請・下請を含めた対象労働者と就労日数に応じた額を購入してください。
- ②公共工事・民間工事を問わず就労日数に応じた共済証紙の貼付を忘れずをお願いします。
- ③掛金の負担は、全額事業主負担となっております。
- ④被共済者本人に共済証紙の貼付状況を確認させてください。
- ⑤共済手帳に250日分貼り終えたらすみやかに更新手続きを行ってください。
- ⑥被共済者が事業所を退職したときは、必ず共済手帳をお渡しください。
また、退職金の受給資格を有する被共済者に退職金請求のご指導をお願いします。
- ⑦被共済者が事業所の代表者又は役員報酬を受けることになった場合は継続加入することは、できません。



独立行政法人 勤労者退職金共済機構 〒170-8055東京都豊島区東池袋1丁目24番1号
建設業退職金共済事業本部 TEL 03-6731-2866 FAX 03-6731-2895

建退共

検索